

な
ぎ
ちょう
奈義町

6月議会

議会だより



リニューアルオープンした
とんがいワールド

(奈義町総合運動公園)

151号

【おもな内容】

令和元年8月1日発行

発行 奈義町議会
編集 議会広報委員会

〒708-1392
岡山県勝田郡奈義町
豊沢306-1
☎(0868) 36-4191

- 6月議会で決まったこと 2~3ページ
- 一般質問（7名）、勝田郡議員協議会総会 4~10ページ
- 全国町村議會議長・副議長研修会、視察受け 11ページ
- 各種委員会報告、編集後記 12ページ

ども園 予算などを審議

- 奈義町行財政改革推進委員会設置条例
この条例は、社会経済情勢の変化に対応した簡素にして効率的な町政の実現を推進するため、委員会を設置するものです。
- 奈義町営さと丸乗合交通条例
この条例は、公共輸送空白地域の交通の利便性を図り、公共の福祉を確保するため、奈義町営さと丸乗合交通を設置し、運行に関する事項を定めるものです。
- 奈義町介護保険条例の一部を改正する条例
- 奈義町減債基金条例の一部を改正する条例
基⾦として積み立て入歳出予算で定める額になります。
- 奈義町浄化槽の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例
上記5件の条例は消費増税に伴う料金改定です。
- 奈義町公共下水道条例の一部を改正する条例
- 奈義町上水道加入者分担金及び負担金徴収条例の一部を改正する条例
- 奈義町上水道事業給水条例の一部を改正する条例
- 奈義町工業用水道料金等

『条 例』

6月定例議会は、6月4日から14日まで11日間行われ、**条例10件、補正予算1件、報告5件、同意3件、選挙1件、選任1件、意見書3件、請願1件、陳情1件、その他2件、計28件を審議、決定。**7名の議員が一般質問を行いました。

- 奈義町行財政改革推進委員会設置条例

消費増税に伴い、低所得者への軽減措置として、保険料率を引き下げる改正です。

- 奈義町減債基金条例の一
部を改正する条例

(以上全員一致)
この条例は、社会経済情勢の変化に対応した簡素にして効率的な町政の実現を推進するため、委員会を設置するものです。

- 奈義町営さと丸乗合交通条例
この条例は、公共輸送空白地域の交通の利便性を図り、公共の福祉を確保するため、奈義町営さと丸乗合交通を設置し、運行に関する事項を定めるものです。

奈義町議会委員会条例の一部を改正する条例

改 正 後	改 正 前
<ul style="list-style-type: none"> ○ 総務常任委員会 (所管) 総務課、税務住民課、こども・長寿課、演習場対策室、出納室、教育委員会、選挙管理委員会、議会、監査 他の常任委員会の所管に属しない事項 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 総務常任委員会 (所管) 総務課、情報財政課、税務住民課、こども・長寿課、演習場対策室、出納室、選挙管理委員会、議会、監査 他の常任委員会の所管に属しない事項
<ul style="list-style-type: none"> ○ まちづくり常任委員会 (所管) 情報企画課、地域整備課、産業振興課、農業委員会 	<ul style="list-style-type: none"> ○ まちづくり・文教常任委員会 (所管) 地域整備課、産業振興課、まちづくり戦略室、教育委員会、農業委員会

『補正予算』

- 一般会計補正予算
2億3000万円を増

主な歳入は、公共施設整備事業費に入金7650万円認定こども園整備事業債5700万円などです。

主な歳出は、教育施設整備事業費に6929万2000円、賃貸住宅管理費に7650万円などです。

(全員一致)

6月 定例議会

令和元年
6月4日～14日

中学校・こ 関連

『報 告』

- 平成30年度奈義町一般会計
繰越明許費の報告について
災害復旧費など29

- 84万円を繰り越します。
○平成30年度奈義町下水道
特別会計繰越明許費の報
告について

1300万円を繰り
越します。

- 専決処分の承認（奈義町
税条例等の一部を改正す
る条例）

- 専決処分の承認（奈義町
国民健康保険税条例の一
部を改正する条例）

2件の専決処分は、
国の法律の改定に伴い、
すでに実施済みであり、
議会に報告するもので
す。

- 専決処分の承認（組織機
構改革に伴う関係条例の
整備に関する条例）

町の課・室の新設、
名称の変更等に伴う担
当課等の変更と、委員
の任期の変更を行った
ものです。

『選 任』

- 議会常任委員会委員の選
任について

議会常任委員会委員の選任について	
総務常任委員会	まちづくり常任委員会
◎岡部英生	◎中井泰洋
○上原伸介	○芦田一郎
岡親佐	岡立
森藤政憲	鷹取渡
小阪四郎	定森廉敏

◎委員長 ○副委員長

森渕英昭 氏（小坂）
(以上全員一致)

『選 挙』

- 岡山県市町村総合事務組
合を組織する地方公共團
体数の増減及び岡山県市
町村総合事務組合規約の
変更について

（全員一致）

- 岡山県後期高齢者医療広
域連合議会議員選挙につ
いて

岡親佐氏 9票
西中純一氏 1票

『その他の選挙』

『同 意』

- 奈義町教育長の任命につき
同意を求めることについて
和田潤司氏（荒内西）

- 奈義町監査委員の選任につ
き同意を求めることにつ
いて

- 奈義町固定資産評価審査委
員会委員の選任につき同意
を求めることについて

- 岸本勉氏（上町川）
延原孝氏（馬桑）

《請願・陳情》

陳情名	内容	結果
ナギフトカードへの一刻も早く電子マネーの導入を求める請願書	ナギフト加盟店会 会長 磯田 卓志	まちづくり常任委員会に付託
種子法廃止に伴い岡山県の取り組みが後退しないように岡山県条例の制定を求める陳情書	種子と食、農を守る岡 山県協議会 長谷川 卓夫	採択

《意見書》

件名	提出先
種子法廃止に伴い岡山県の取り組みが後退しないように岡山県条例の制定を求める意見書（案）の提出について	岡山県知事
過疎地域の振興に関する意見書（案）の提出について	内閣総理大臣、財務大臣、総務大臣、農林水産大臣、国土交通大臣
日米貿易交渉において、日本の農業を守る姿勢を堅持することを求める意見書（案）の提出について	内閣総理大臣、財務大臣、外務大臣、農林水産大臣、経済産業大臣 経済再生担当大臣

未来に向けて

7議員が一般質問

Q 日米共同訓練
オスプレイは飛来するのか



岡部 英生 議員

A 今年度は、可能性は低い

答弁 町長 今回の日米共同訓練については、米軍再編に係る訓練移転、日米間での合意されたオスプレイ等の訓練移転に係る枠組みと関連するものである。現時点では、オスプレイの訓練を含めた共同訓練の可能性があるが、現在日本原演习場での訓練は防衛省側からの申し入れはない。第三・四半期で訓練時期を考えると、円滑に地元の理解、協力を得るには時間的に厳しい。今年度は、日本原演习

質問 今年の秋10月から12月の間ににおいて、日米共同訓練が実施される予定である。日米間で合意されたオスプレイ等の訓練移転に係る枠組みと関連するものだとされている。日米共同訓練については、過去にも幾度かあったが、今回はオスプレイが飛来し、訓練を実施する可能性がある。オスプレイとなれば、過去の訓練とは大きく相違する。町民の安全、安心を守り、確保できるのか。



昨年の米軍単独訓練

場での実施の可能性は低いと考えている。

しかしながら、オスプレイについては、陸上自衛隊において導入を進めている機種であり、いすゞは日本原演习場でのオスプレイによる訓練が実施されることになると想定している。

今後は、オスプレイによる訓練について説明会等を開催し、事前に町民の皆さんにご理解をいただくことが重要であると考えている。

その他、奈義町農業振興地域整備計画について、住宅問題について質問をした。

質問 基地の町として町全体で自衛隊に対する支援、協力的な取り組みを更に進める必要があると考えるが。答弁 町長 自衛隊の誘致創設以来、自衛隊との共存共栄は、本町のまちづくりの根幹をなす大きな柱である。今まで、演習場関係地区をはじめ、議会、町民の皆さんのご理解とご協力により演習場の安定使用が図られている。昨年の米軍単独訓練の受け入れ等、町政にかかる重要な案件についても、区長会等のご意見、ご要望を聞き、反映させ、自衛隊との共存共栄を基本理念とし、基地行政を進めなければならないと考えている。

A Q 町全体での支援はまちづくりの根幹である



上原 伸介 議員

Q 施策実行は、順序とバランスが肝要

A 各世代ごとに、調和を図って進める

質問 奈義町はこれまで、人口増加に向けて様々な取り組みを行ってきた。取り組む分野に優先順位をつけることは困難だが、特色を持たせた町政の展開も重要。

町のブランド化を図る意味でも、町民の皆様の理解を得られる順序とバランスのとれた施策を心掛けるべきと思うが、どうか。

答弁 町長 対象となる事業の中で、次世代に引き継ぐための優先順位をつけ、地方創生事業に上手く結びつけていきたい。

町の基本施策と町民皆様の活力で協働のまちづくりを進めていきたい。

質問 このたび、とんがりワールドがリニューアルしたいへんな賑わいをみせていく。施

策ごとに名称看板を建てる等、利便性の向上を図ってみてはどうか。また、利用状況が芳



有効利用が望まれる運動公園北側駐車場

質問 日本語が乱れ、子どもたちの心の表現能力が落ちている。これが、いじめや不登校の要因のひとつに

告しているいじめは1件、不登校は2件。いずれも、関係団体や医師らと連携し、早期解決に向けて取り組んでいる。

質問 現状把握など、奈義町地域防災計画の全般的な見直しを行っていく。

全国的にいじめ、不登校の問題が深刻化しているが、奈義町での現状は。方々がつながることを目指している。

質問 岡山県に報

答弁 教育長 子どもたちを中心として、各校、園の職員や保護者、学校運営協議会、またボランティアの方々がつながることを目指している。

登校の問題が深刻化しているが、奈義町での現状は。

質問 災害時の避難勧告、指示を町民に漏れなく伝達するため、住民への周知方法を見直す予定があるとされているが、その進捗状況は。

答弁 教育長 不登校は2件。いずれも、

もなっている。英語教育よりも、まずは国語の学習に入力を入れるべきでは。正しい言葉を使い、言葉を大切にする環境づくりをしていきたい。子どもたちの自己有用感と自尊感情を高め、何でも話せる自由な集団づくりに努める。

奈義町はこれまで、教育改革プランに基づいて、幼小中一貫教育に取り組んできたが、今年度の目標はどのようなものか。

質問 奈義町はこれまで、

Q 教育改革プランの今年度の目標は
A 一貫教育の充実を図る

質問 正しい言葉を使い、言葉を大切にする

Q 災害対策の進捗状況は
A 防災計画全般の見直しを図る

Q しごとコンビニのタンク処理を町がするのは問題



森藤 政憲 議員

A 充分、検討をしたい



タンクはどうなる？しごとコンビニ

質問

しごとコンビニの地下にあるガソリンタンクは、消防署に聞くと、8月末には処理しないとダメだと言っている。この間、なぜ、議会に報告がなかつたのか。また、どう処理するつもりか、聞きたい。

答弁 町長 情報公開とい

う点については、オーブンにしていきたい。また、タンクについては、町の責任でやらなければならぬと考えている。

質問

町が処理する、といふのは納得ができない。契約書にも、しごとコンビニの日常業務の改修は、借主が行うが、建物本体は別だ

と書いてある。当然、所有者の仕事ではないか。

答弁 町長 質問の内容は分かるので、今後、充分、検討を行いたい。

Q 行革は、福祉や教育を守る立場でそのように考えている

かつた。オスプレイは事故率が高い。日本原にやつてくる可能性があるというの

は非常に大きな問題だ。この前の、米軍単独訓練の時には、市民に充分な説明がない中、受け入れが決められた印象を持っている。そんな事がないように、慎重な検討を求める。

A 地方創生事業の抜本的見直しをまちづくり総合計画の改定と合わせ必要に応じて見直す

行財政改革は、合併をしない決断をした時の再出発計画のように、福祉や

教育の水準を維持する立場で取り組む必要があると思うがどうか。また、対象に地方創生事業を当然、加えてべきと思うが、考えは。

答弁 町長 事故率は様々な観点から考える必要があるが、いずれにしても、町民の中には不安があるので、説明会を開くなど対応したい。

Q オスプレイは事故率が高い。受け入れについてどうか

A 充分に説明をしていきたい

質問 目的は、生活の質の維持を図ることであり、そのよう

Q 納食費の軽減を段階的に取り組む事も検討したい

質問 この10月から12月の間に、日米共同訓練が行われ、これにオスプレイがやつてくる可能性がある事が分

質問 教育の無償化という観点から、給食費の無料化の考えがあるが、これには賛否両論がある。以前行っていた、地元食材は町が負担し、給食費を下げ、負担を軽減してはどうか。

答弁 町長 今後、町民の声も聞きながら段階的な取り組みも必要かと思う。



定森 廉敏 議員

Q 情報化社会を生き抜く 中学校教育について

A プログラミング教育は 充実したものに

質問

中学校のコンピューター室の利用状況、設備、教材の状況について、またプログラミング教育の現状について伺う。

子どもたちがパソコンに接する機会を多くもつてもらいたい。

また、データ分析の力を養うためにも、そろばんの学習も考えてもらいたい。

答弁 教育長 利用状況については、技術科でのプログラミング教育、その他、教科での調べ学習、特別支援学級の授業等、比較的多く活用されている。

設備、機材の状況は、従来型のデスクトップパソコンに加え、持ち運びが容易なタブレット型パソコン40台を整備し、各教室への無線LAN環境も機能強化させていくなど、適宜充実を図っている。

プログラミング教育の現状として、技術科の授業の中で、簡単なロボット教材を活用し、目的から逆算して物事を順序立てて考え、結論を導き出し、それを実

行するという考え方を学んでいる。また、教諭を一年間、県の教育センターに派遣し、指導者の充実を図っている。

また、パソコンに接する機会を増やすため、管理面でボランティアの方も含めて配置していくようことを考えていきたい。

そろばんについては、読み書き、そろばんという計算力の教育もおろそかにしてはならないことはしっかり肝に銘じ、頑張っていこうと思う。

Q アクティブラーニングの必要性について

A これから世界を生き抜く力を身につけさせるものとして必要だ

方法としての文章を書く力が弱くなっているのは問題。領では、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善が推進されている。学びの深まりを作り出すために、子どもが考える場面と教員が教える場面をどのように組み立てていくかといつた視点で実現したい。

また、朝の読書活動などで文章を読むということも、側が受け身で学習することが多かったが、アクティブ書くことに大きくつながってくると思う。また、学ぶ

質問

答弁 教育長



パソコン教室(中学校)

ラーニングの考え方で、課題をみつけ、話し合って深めたり、広げたりしながら答えを探して行く、見つけで行く活動を広げて行くことにより、これからの世界を生き抜く力を身につけるものと理解している。

Q 新しい中学校の施設は、明確な教育目標に基づいて

A 教育改革プランとのかねあいも考え方進める

質問

答弁 教育長

新しい中学校は、使い勝手の悪さを解消するために加えて、明確な教育目標を掲げ、それを達成するためにはどのような施設が必要であるか、構想を練るべきだと思うが。

構想の策定には奈義町学校教育改革プランなどの関係計画等の整合性を図りながら、みんなの意見を取り入れ、学校づくりを進めてまいりたい。

Q 宅地、空き家、農地、山林等の寄附の申し出があれば受け入れる考えはあるのか



小阪 四郎 議員

A 積極的に受け入れたい

質問　国土交通省は、このほど、所有権や相続権の放棄を望む土地の実態を把握するためのアンケート調査をインターネットで行い調査の結果を公表した。本町でも、所有権や相続権の放棄を望んでいる方はいるとと思う。町に、買い入れ、寄附の申し出があれば受け入れる考えはあるのか伺う。

答弁　町長　景観や鳥獣害、防犯面のことを考えると、移住や定住促進に向けた空き家や宅地の戦略的活用が必要となる。今後、土地の寄附受付については、積極的に導入をしたいと考えている。物件受付後の管理や活用方法など、行政だけの対応だけでは取り組めない事案もあり、町民の皆さんのが協力をいたずらに仕組み作りが必要と考えている。買い入れについては、現在のところ考えていない。



奨励作物アスパラガス立莖中



今年の麦は豊作



すくすく育つ黒大豆

質問　先日、トランプ大統領が国賓として来日された。大統領は自国の農業を守るために、日本に関税の大幅な引き下げを迫っている。日本農業を守る姿勢を堅持するように働きかけることはできないか伺う。

答弁　町長　TPPの水準までは関税を引き下げないという日本の主張を米国側は尊重すると言っている

質問　本町の農業をどう守るのか対策は

答弁　町長　生協議会が目標値を定め生産調整を行っている

主食用米価が1万3000円程度で安定しなければ、米麦中心の大型農家、集落営農に影響が出る。町の基幹産業である農業をどう守るのか。

質問　本町の農業をどう守るのか対策は

答弁　町長　米麦を中心とした農業形態に特化するのであれば他の米との差別化を図り、さらに付加価値を高める必要があり、農業者の経営安定対策として、町の農業再生協議会が作成する水田フル活用ビジョンに基づく米づくりと奨励作物への転換を推進していく。今後も引き続き、里芋や白ねぎ、キュウリやアスパラガス、リンドウや山の芋など収益性の高い野菜などへの転作と転作料の交付、畜産糞堆肥の活用など、生産性向上の仕組みを継続して奨励する。今年度より町内約50アールで葉物野菜の実証栽培を行う。

が、警戒を怠ることはできないう状況である。今後の動向を充分に考慮し、注視しながら、早期に町村会等を通じて国に対する働きかけをしていく。

Q 米国との貿易交渉で日本の農業は守れるのか A 今後の動向を充分に考慮し対応する



岡 立 議員

Q 子どもたちの安全な暮らしを 守る対策は

A 連携をとりあい、 一生けん命取り組む



視線をさえぎる樹木の枝

質問 大切な啓発になる。参考にしたい。スピードを抑制する装置を取り付ける際に補助

答弁 町長

大切な啓発になる。参考にしたい。スピードを抑制する装置を取り付ける際に補助

質問 等々書いたカードを老人会等で作成し、運転席に置いておく取り組みを行ってはどうか。

答弁 町長

等々書いたカードを老人会等で作成し、運転席に置いておく取り組みを行ってはどうか。

質問 その他、18才からの選挙権について、若者に関心をもつてもう方法について

答弁 町長

他団体の取り組みも参考にしながら、取り入れていきたい。

質問 通学路の危険箇所の再点検など、早急な対策が必要ではないか。

質問 方にも協力をいただきながら進める。

は。

質問 事件に遭わない対策

答弁 教育長

子どもたちの安全確保は、緊急の課題。車両進入を防止するための調査を行っており、早急に対処する。

質問 カーブミラーの不備、空き地、空き家の伸びすぎた雑草や樹木も危険の一つ、ぜひ調査を。

答弁 教育長

不審者対策にもなるので、子どもたちの目線を大切にし、地域の

質問 子どもの居場所の確認や情報の共有が大切。きちんとできているか。

答弁 教育長

連携体制を整え、子どもたちを大切に守っていく。

質問 金を出している自治体もある。検討してみてはどうか。

答弁 町長

いろいろと検討してみて、できればやってみたい。

質問 認知症SOSネットワークというものをつくる自治体も増えてきている。地域みんなで見守る制度である。研究してみてはどうか。



乗り入れ防止柵完成

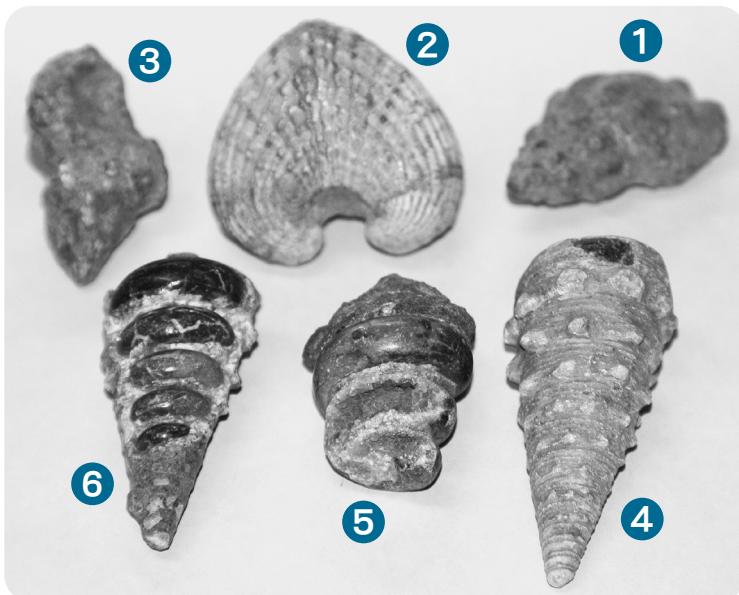
Q なぎビカリアミュージアムで大きな夢を



芦田一郎議員

質問
「なぎビカリアミュージアム」は、町の観光施策に大きな役割を果たしており、一般の観光施設とは違った教育施設の面が濃いと思われる。そうしたなかで、将来「なぎビカリアミュージアム」を登録博物館とするためには、芸員、もしくは専門職員の配置等を考える時期に来ているのではないか。

答弁 教育長 なぎビカリアミュージアムのさらなる発展のために、今後も柿地区、柿ビカリア会と共に利用者のニーズを把握しながら、旅行会社や、県内外の小中学校などへの広報活動を強化し、入場者の状況も踏まえ、施設改善を検討しなければならないと考えている。また博物館法のもとでは、登録博物館とすることに大きなメリットはなく、これから先も「博物館類似施設」の形のまま進めていきた。大学等研究機関との連携による、職員や、学生の派遣、さらに研究室の設置など可能性について研究したい。



(写真上段右から) ①クロダイソニナ ②カケハタアカガイ

③ナギクリイロバショウ

(写真下段右から) ④ビカリア ⑤⑥ビカリア月のおさがり



大賑わいのビカリアミュージアム

5月17日、勝央町共同福祉施設「丘の上」において総会を開催しました。奈義、勝央両町議員が出席し、各事業報告、収支決算報告等を審議しました。その後、両町の主要な事業について意見交換を行いました。



勝田郡議会議員協議会総会

**勝田郡議会議員
協議会総会**

全国 町村議会議長・副議長研修会



山梨学院大学 江藤教授の講演

5月28日、東京国際フォーラムホールにおいて、「これから町村議会を考える」と題して、研修が行われました。

まず最初に、昨年度より調査継続中であった、議員報酬のあり方、定数削減について、等の最終報告が行われました。山梨学院大学の牛山久仁彦教授、首都大

学の長野基準教授による分析と解説では、議員のなり手不足の要因の一つが議員報酬の低さにあること。また、定数の減少により、当選ラインが上昇することも、なり手不足の原因の一つであるとの発表がされました。

今後の課題として重要なのは「住民と考える議員報酬・定数」。

これは、住民からの批判が多いテーマへの説明責任という意味がある。報酬・定数の問題への取り組みは、これからの議会運営の条件である。なり手不足解消のためには「議会活動の活性化」「議員の活動量の増大」は必須であり、住民の意見を自治体行政に反映させる活動が求められている、と結



研修を受ける正副議長

★京都府与謝野町議会

1、常任委員会と各種団体との懇談会
2、議会だよりの充実
3、議員間討議の実施
4、こども議会の開催
5、今後の課題

●夜間、休日議会への取り組み
●議員の兼業の緩和
●喬木村議会が目指す議会像の公開、等
●政策づくりと監視機能の発揮
●子ども議会の開催
●議会報告会
●ホームページの活用、等

●視察がありました

5月16日 福島県川俣町議会。子育て支援について。教育振興策について。9名来町。

5月27日 新潟県佐渡市議会。子育て支援について。8名来町。

6月25日 千葉県東金市議会。子育て支援について。子育て支援について。9名来町。

6月27日 滋賀県豊郷町議会。子育て支援について。移住定住の取り組みについて。12名来町。

まちの人事部について。まちの人事部について。今後も視察の申し込みが相次いでいます。

びました。
その後、町村議会特別表彰を受けた次の三議会の取り組みが発表されました。

★長野県喬木村議会の取り組み

1、夜間、休日議会への取り組み
2、議員の兼業の緩和
3、喬木村議会が目指す議会像の公開、等
4、こども議会の開催
5、今後の課題

●女性の議会参加への取り組み
●ペーパーレス化への取り組み

どの地域も抱える問題は変わらないが、それぞれの議会において努力を重ねておられるのを実感しました。奈義町議会で、今後、多くの問題に取り組んでいく力をいただき閉会となりました。

委員会報告

総務常任委員会

新しい推進法人は？

5月31日、町長、副町長、各課長出席のもと委員会を開催し、所管事務の調査を行った。

主な質疑は次の通り。

答..嘱託も含め3名の臨時職員を置く。運行は社会福祉協議会に委託し対応する。

問..地域消防の日本原出張所の移設費用について。答..建物は消防組合で建設する。土地の提供と造成費用等は町で行う。

問..センタービレッジの補修は当初から見込んでいたのか。



津山地域消防組合日本原出張所

答..維持管理費の中に補修経費を見込んで購入した。

問..納税をするための今後の対応は。

答..税の公平性の中で納めないとだかなければならない。収納が不可能な場合は税整理組合等にお願いする。

問..新しい法人設立に必要な人は、どういう人を配置するのか。

答..新しい推進法人は、町民主体を考えている。皆さんの声が反映できる組織にする。

認定こども園の建設予定地も発表され、大事業が始まっています。町民皆様のご意見をお聞きしながら、事業を進めています。

認定こども園の建設予定地も発表され、大事業が始まっています。町民皆様のご意見をお聞きしながら、事業を進めています。

(鷹取渡)



評価の高い奈義町立図書館

編集後記

奈義町議会だより 151号 (12)

図書館の評価は？

まちづくり・文教常任委員会

6月3日、委員会を開催し、所管事務等の調査を行った。

町長より、永続できるまちづくり・人口維持を図るため、今回の補正予算を計上しているとの話があつた。主な質疑は次の通り。

☆産業振興関連では、問..農地利用計画の説明を。

答..農業振興地域内農地75.5ha、主食用米作付面積41.5haである。

☆学事関連では、問..中学校・こども園両基本構想検討委員会の報告書は。

答..現段階では、どちらもまだできていない。

答..イノシン・シカは4000円、10月1日～10月31日までの駆除期間内はシカについて4000円

問..有害鳥獣対策事業の県からの助成金は。

答..奈義町立図書館の評価は、

問..近隣の図書館と比較して、まだできていない。

答..多面的な活動が高く評価されている。

【編集委員】
議長 岡定森
委員 原伸泰
副委員長 小阪洋郎
委員 鷹取敏
委員 上原廉
委員 中井四郎
委員 佐介渡